プロパンガスは、正しく使用しましょう。
「安全点検」無事故で笑顔の楽しい暮し…

販売店はあなたの安全・安心のパートナーです

◆新築・改築・転居などで新しくガスを使用する時、または使用をやめる時は、必ず販売店に連絡してください。
◆その他の設備については、容器交換のつどLPガス販売店が点検を行います。また定期的に、お客さまの全ての設備について点検・調査をさせていただきますので、ご協力をお願いします。
◆ストーブなどの季節的器具で取付け、取り外しが困難なときは、販売店に相談してください。

LPガスの性質を知っておきましょう

◆空気の約1.5～2倍の重さがあり、漏れると低いところや物かげにたまるおそれがあります。
◆ニオイがつけてあります。(LPガスそのものは無色無臭ですが、漏れた場合、すぐわかるように玉ネギが腐ったようなニオイがします。)
◆クリーンなガス。(LPガスには、人体に有毒な一酸化炭素は含まれていません。)
◆液化しやすく、気化しやすい。

ガスが漏れたときは、すばやい対応を

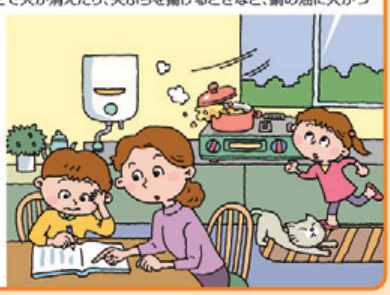
◆室内の火は全部消し、マッチをすったりタバコなどを吸わない。
◆器具栓・ガスの元栓などを閉めてください。
◆発火の原因となるので、コンセントや電気のスイッチには触れない。換気扇は絶対にまわさない。(回っている換気扇はそのままにしておく。)
◆とびらや窓などを十分に開けて、風通しをよくして、ガスを自然に追い出す。
◆販売店に連絡をして、点検を受けるまでガスを使わないようにしましょう。

火災や地震など、災害の時はあわてずに

◆火災の時は…容器バルブを閉め、消防署員などに容器の位置を知らせて、後の処理を頼んでください。
◆地震の時は…火を全部消し、器具栓・ガスの元栓を閉めてください。ゆれの大きなときは、容器バルブも閉めてください。
◆洪水の時は…容器バルブを閉め、容器が倒れたり、流されたりしないようにロープなどで固定してください。
◆異常があったときは、販売店まで連絡してください。

火がついたことを必ず目で確かめましょう

◆自動点火の器具は、つまみをゆっくり回すようにし、ボタン式はやさしく押しましょう。
◆マッチなどで点火する場合は、マッチなどに点火してから器具栓を開いてください。
◆風や煮こぼれなどで火が消えたり、天ぷらを揚げるときなど、鍋の油に火がつくことがあります。ガスを使っているときは、その場を離れないようにしましょう。(離れるときは火を消しましょう。)
◆ガス器具のそばには、燃えやすいものを置かないようにしましょう。



器具栓・ガスの元栓は完全に閉めましょう

◆おやすみになる前や、外出の時は、器具栓・ガスの元栓が閉まっているか、もう一度確認しましょう。
◆長い間ご不在になる場合は、ガスメーターバルブや容器バルブを閉め、販売店に連絡してください。
◆使用していないガスの元栓には、ゴムキャップをつけてください。
◆ヒューズコックを取付けましょう。(ゴム管が抜けたり、切れたりしたときにガスの流れを止め、ガス漏れを防止します。)